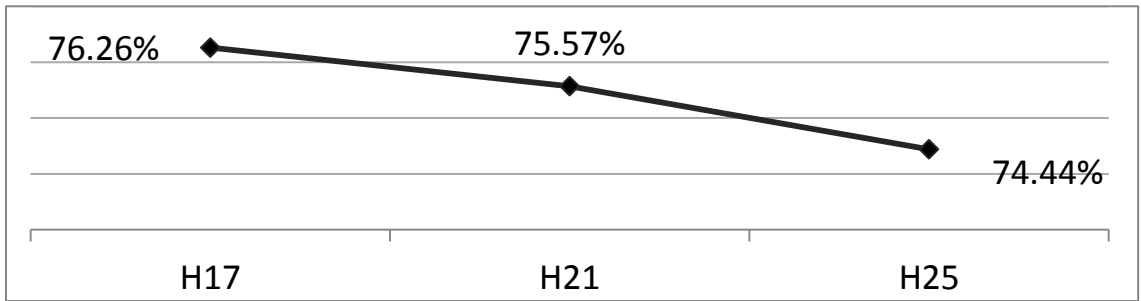


加賀市民の投票状況

1 投票率は下がり続けています。(10月実施市議選結果)



* 今回投票に行かなかった市民15,030人(前回14,898人)

2 各地区別投票状況

○ベスト3 (高い地区)

1位	東谷口 地区会館	86.52%	(前回1位 90.76%)
2位	金明 地区会館	85.32%	(前回2位 86.81%)
3位	勅使 地区会館	82.61%	(前回5位 84.67%)

* 東谷口と金明地区は、合併以後、3回連続で1位2位です。
この地区の高い関心が伺えます！

○ワースト3 (低い地区)

最下位	山代 小学校	64.51%	(前回 66.85%)
35位	山代温泉20区 区民会館	64.86%	(前回 65.56%)
34位	山代温泉 1区 区民会館	65.31%	(前回 66.48%)

* 山代温泉地区の投票率は、3回連続60%台という低い状況で
参政権を放棄する人が、際立っています。



市内では、地域によって、棄権する市民が固定化してきています。近年、日本全国で問題となっている、「参政権」の放棄にともなう、政治の劣化を改善するためには、加賀市でも傍観者意識や、無関心に働きかける地道な取り組みが必要と考えられます。

考えてみよう！ 「参政権」

「参政権」は、「国民の義務」ではなく、「**国民の権利**」であります。
諸外国では、**参政権を「義務」と**、している国も多く、そういった国では、**投票率は90%を超えています**。

しかし、日本では、投票行動は「権利」であり、市民自らが「権利」を放棄している以上、今までのところ、この低投票率改善の妙案はなかなかみつきりません。

又、[明るい選挙推進協会]の調査によれば、[投票に行かないこと]に対して、20代では42.4%の方が[個人の自由]だと考えており、自らの自治体の構成員を決める投票行動が「権利」だと考えている人は、若年層ほど低下しています。

- 投票に行かなかった主な理由
 - ・ 面倒だから
 - ・ 関心がないから
 - ・ 自分一人が投票しなくても同じだから
 - ・ 選挙によって政治は良くなれないと思ったから
 - ・ 適当な候補者がいなかったから

…これらの理由をみる限り…

政治に対する無関心

政治に対する無力感

の、二つを改善していく必要があります！
特に、「政治に対する無力感」に対しては、議員にも責任があります。
現在の市政が、市民の期待に答えていないと、市民が考えていれば、
→ 確信的棄権がうまれてきます。

議会の内部改革が必要

また、参政権を行使しなかった人(棄権した人)に対しては…
自らの意思表示をすることなく、
他人が下した投票結果に、従わざるを得ない…！

ことを、再認識してもらう必要があります！！

せめて

年1回の健康診断を受けましょう！

健診は1月31日まで可能です。

健診の重要性

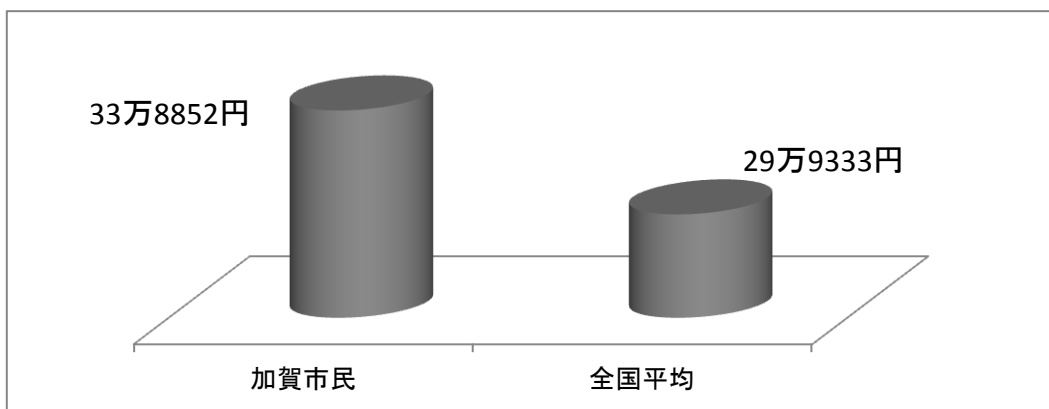
病気の早期発見・早期治療

BUT: 加賀市の受診率は極めて低い

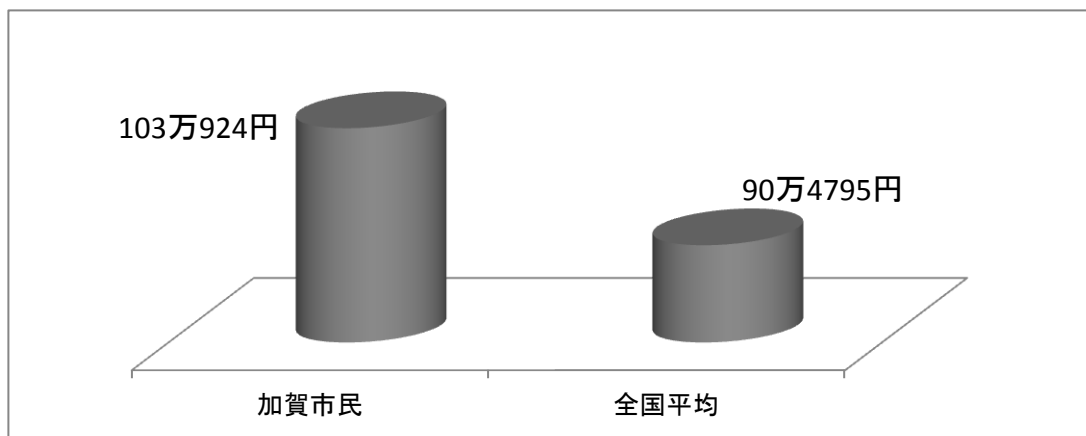
そのため; 病気の早期発見ができず、重病になってから病院に行く

治療費が多くなる

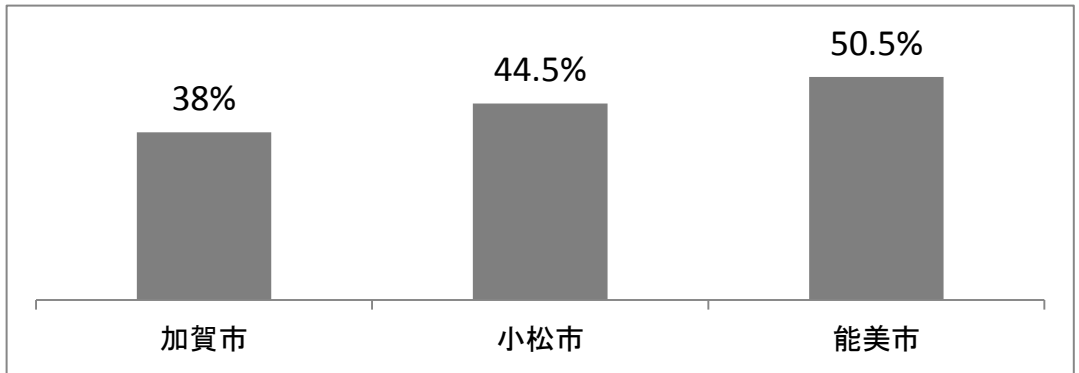
加賀市民一人あたりの
医療費(国保)



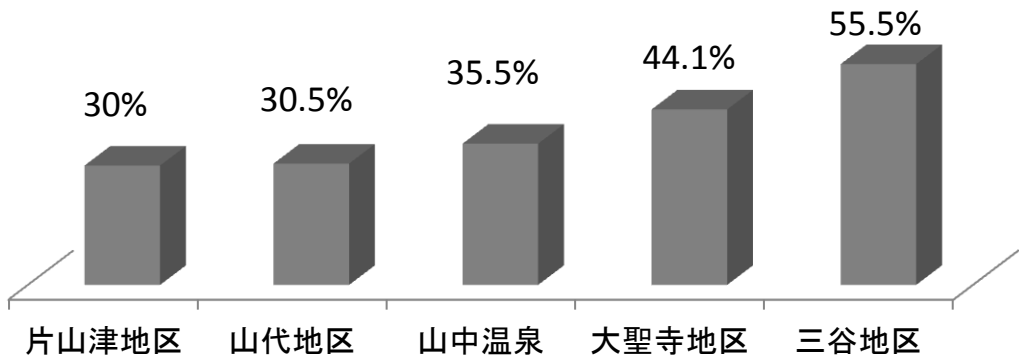
後期高齢者医療費比較
(75才以上)



近隣他市との国保
特定健診受診率比較
(H24度)



市内地区別受診率



健診のメリット

- 1、病気の早期発見・早期治療ができます。
- 2、重症化する前に治療できる。(治療代金が安くてすむ)

重症化してからの
医療費の例

- 市民一人あたり(糖尿病の場合)
- 1、早期発見→内服薬 (年 17万円)
 - 2、→インスリン注射 (年 50万円)
 - 3、重症化してから→人工透析 (年 500万円)

医療費がたくさんかかれば、その負担は、市民みんなに、税や社会保障の負担として、のしかかってきます。

多くの市民が、年1回健診を受けることによって、この課題は改善することができます！

室谷 ひろゆき 議会報告

市役所 加賀市大聖寺南町二41 72-7965(代)
住所 加賀市山代温泉14の67 77-7839

2014年
1月号
(討議資料)